

防火・避難施設等自主検査チェック表（定期）（例）

実施項目及び確認箇所		検査結果
建物構造	(1) 基礎部 上部の構造体に影響を及ぼすような沈下・傾き・ひび割れ等がないか。	
	(2) 柱・はり・壁・床 コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化箇所等がないか。	
	(3) 天井 ①仕上材に、はく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。 ②天井取り付けの照明器具等の固定に脱落のおそれのあるゆるみ等がないか。	
	(4) 防煙垂壁 ひび割れ・脱落等がないか。	
	(5) 窓枠・サッシ・ガラス 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。	
防火施設	(1) 構造及び開口部 ①防火戸取り付け部の壁体にひび割れ等の不具合等がないか。 ②防火戸の内外に防火上支障となる可燃物及び避難の障害となる物品等を置いていないか。 ③防火戸は円滑に開閉できるか。	
	(2) 防火区画 ①防火区画を構成する壁・天井に破損がないか。 ②階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。 ③自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸・防火シャッターのくぐり戸が完全に閉まるか。 ④防火シャッターの降下スイッチを作動させ、防火シャッターが最後まで降下するか。 ⑤防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じないか。 ⑥防火ダンパーの作動状況はよいか。	

実施項目及び確認箇所		検査結果
避難施設	(1) 通路	
	①有効幅員が確保されているか。	
	②避難上支障となる看板・ディスプレイ等の障害物を配置していないか。	
	(2) 階段	
	①手すりの取り付け部の緩みと手すり部分の破損がないか。	
	②階段室の内装は不燃材料になっているか。	
	③階段室に設備・機器等の障害物を配置していないか。	
	④非常用照明がバッテリーで点灯するか。	
	(3) 避難口	
	①扉の開放方向は、避難上支障ないか。	
	②避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。	
	③避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。	
	④避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。	
火気使用設備器具	(1) ガス配管の老朽化、亀裂、損傷、漏洩がないか。	
	(2) 排気筒及び排気ダクトに変形、損傷がないか。また可燃物品から適正な距離が保たれているか。	
	(3) 防火ダンパーに変形、損傷がなく、かつ、正常に作動するか。	
	(4) 火気使用設備器具の周囲は整理整頓されているか。	
電気設備	(1) 変電設備	
	①変電室の天井・壁・床等に漏水箇所等がないか。	
	②変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。	
	③変電設備に異音、過熱はないか。	
	(2) 電気器具等	
	①照明器具等の固定状況に脱落のおそれのあるゆるみ等がないか。	
	②タコ足の接続をしていないか。	
③許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。		

実施項目及び確認箇所		検査結果
危険物施設	(1) 少量危険物施設等 (ボイラー設備等)	
	① 標識・掲示板は掲げられているか。	
	② 区画の壁体に亀裂・損傷等がないか。防火戸の開閉に異常がないか。	
	③ 危険物の漏れ、あふれ、飛散がないか。	
	④ タンクからの漏洩がないか。	
	⑤ 容器の転倒、落下防止措置がされているか。	
	(2) 指定可燃物施設	
	① 標識は掲げられているか。	
	② 貯蔵取扱場所の周囲に火気がないか。	
	③ 整理整頓がされているか。	
固定等	(1) 核施設設備の固定ボルト等に地震動によって移動するおそれが生じるような腐食が生じていないか。	
	(2) ロッカー、商品陳列ケース、棚、看板等の転倒、移動、落下防止の措置が行われているか。	
		統括防火・防災管理者確認

(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに統括防火・防災管理者に報告する。

(凡例) ○…良 ×…不備・欠陥 ⊗…即時改修